

令和 2 年度（第 2 6 回）

一般社団法人日本応用地質学会 中部支部
通 常 総 会 決 議 文 書

期 日：令和 2 年 6 月 12 日（金）

会 場：支部役員による Web 会議

一般社団法人日本応用地質学会 中部支部

令和2年度通常総会

1. 開会の辞

2. 支部長挨拶

3. 議 事

第1号決議	平成31年度(令和元年度) 事業報告	1
第2号決議	平成31年度(令和元年度)決算報告, 会計監査報告	4
第3号決議	令和2・3年度 中部支部役員の退任及び選任.....	6
第4号決議	令和2年度 事業計画	7
第5号決議	令和2年度 予算	7

4. その他 8

5. 閉会の辞

<巻末資料>

資料1 中部支部の現況会員数

資料2 中部支部 令和2年度 役員等名簿

資料3 日本応用地質学会中部支部ホームページ、メーリングリストのご案内

3. 議 事

第1号決議

平成31年度（令和元年度）事業報告

1) 顧問会

開催日	令和元年5月24日（金）13:00～14:00
場 所	名古屋大学博物館講義室
議事事項	① 平成30年度事業報告、決算報告、令和元年度事業・予算計画を説明した。 ② 顧問による意見・提案の概要、地学離れが顕著、大学も理学部・工学部の融合が難しい。業務平準化で年間通して忙しいため、シニア講師も一案。新人研修を合同にし、支部と大学でサポートするのも案。
参加者数	15名：（塚脇顧問、米田顧問、永田顧問、田邊顧問、他、吉田支部長、支部役員）

2) 第25回総会

開催日	令和元年5月24日（金）14:00～15:00
場 所	名古屋大学博物館講義室
承認及び議事事項	① 平成30年度 事業報告 ② 平成30年度 決算報告、会計監査報告 ③ 令和元年度 中部支部役員の退任及び選任 ④ 令和元年度 事業計画（案） ⑤ 令和元年度 予算（案）
参加者数	出席者：20名 委任状：76名 合計：96名 支部運営規程15条にもとづき、支部正会員152名の5分の1以上を満たし総会は成立した。

3) 役員会

回	年月日	会 場	出席者数 (人) *	内 容
1	平成31年 4月25日	国際航業(株) 中部事業所	12 (委任状5)	(1) 令和元年度支部総会決議事項の確認 (2) 第25回(平成30年度)通常総会議案の確認 (3) 令和元年度行事計画と役割分担 (4) 技術交流会、見学会他、活動計画
2	令和元年 6月6日	国際航業(株) 中部事業所	12 (委任状5)	(1) 顧問会・総会・災害調査報告会の報告 (2) 技術交流会・見学会の計画 (3) 応用地質学講座、普及活動の計画 (4) 2020年度応用地質学研究発表会に向けて
3	令和元年 8月30日	国際航業(株) 中部事業所	10 (委任状8)	(1) 技術交流会・講演会の報告 (2) 応用地質学講座、普及活動の計画 (3) 2020年度応用地質学研究発表会に向けて (4) 災害協定について (5) 災害地質研究部会の報告
4	令和元年 10月10日	国際航業(株) 中部事業所	6 (委任状10)	(1) 応用地質学講座、普及活動の計画 (2) 2020年度応用地質学研究発表会に向けて (3) 災害協定に関する報告
5	令和元年 12月20日	名古屋プライム セントラルタワー会 議室	7 (委任状7)	(1) 応用地質学講座、普及活動の報告 (2) 2019応用地質学会研究発表会参加報告 (3) 令和2年度 活動計画、役員改選について (4) 2020年度応用地質学研究発表会に向けて (5) 名城大学自然災害リスク軽減研究センターとの連携
6	令和2年 2月20日	国際航業(株) 中部事業所	8 (委任状10)	(1) 令和2年度予算案 (2) 令和2年度行事計画と役員改選・役割分担 (3) 2020年度応用地質学研究発表会に向けて (4) 個人情報の取扱に関する監査

* 支部運営規程 17 条にもとづき、全ての役員会は支部構成員 18 名の過半数を満たし成立した。

4) 講演会

・総会時（令和元年度は「災害調査報告会」とした）

開催日	令和元年5月24日（金）15:00～16:30
場 所	名古屋大学博物館講義室
演 題	「平成30年7月豪雨 岐阜県における災害」
内 容	1. 「平成30年7月豪雨」とは 2. 愛媛県・広島県・岡山県などにおける災害 3. 岐阜県における災害事例 4. 災害の地形地質的特徴（予察） 5. 日本応用地質学会中部支部調査団の活動 6. 今後に向けて
講演者	有限会社風水土 永田秀尚（日本応用地質学会 中部支部顧問）
参加者数	40名

5) 技術交流会

開催日	令和元年6月13日（木）13:15～17:00
場 所	下呂温泉ホテルくさかべアルメリア会議室
内 容	1. 口頭発表 7編 【1】千葉県勝浦市に見られる海底地すべりによる変形構造 ○上野 紘太郎（川崎地質株式会社） 【2】崩壊斜面の災害復旧を目的とした調査事例 ○武田 開（国際航業株式会社） 【3】雪渓上を長距離移動した地すべり移動体 ○日野 康久（株式会社環境総合テクノス） 【4】豪雨で発生した切土のり面のトップリング性変状 ○加藤 靖郎（川崎地質株式会社） 【5】平成30年7月豪雨、岐阜県飛騨市下数河地区の崩壊 ○居川 信之（株式会社エイト日本技術開発） 【6】平成30年7月豪雨によるJR高山本線桂谷土石流災害 ○地主 卓弥（ジェイアール東海コンサルタンツ株式会社） 【7】平成30年7月豪雨、および北海道胆振東部地震で発生した崩壊における斜面切土の影響 ○永田 秀尚（有限会社風水土）
参加者数	18名（会員18名）

・技術交流会時（令和元年度は特別講演の開催は無し）

6) 現地見学会

開催日	令和元年6月14日（金）9:00～14:30
場 所	下呂市萩原町上呂 金子谷（H30.6災害箇所）
内 容	花崗閃緑斑岩分布域。災害発生場所の地形・地質特性、災害発生特性を検証
案内者	日本応用地質学会中部支部顧問、役員
参加者数	28名（会員18名、学生10名）

7)応用地質学講座【現地踏査】(ルートマップ作成、走向傾斜、露頭での柱状図の書き方等)

年月日	令和元年10月11日（金）9：45～15：45
場 所	岐阜県瑞浪市
目 的	若手、地質・土質技術者を対象として、堆積岩を対象に地質学のおよび応用地質学的な基礎的内容の現地での見方などを講習する。
内 容	主として露頭にて現地踏査実習の基本事項の講習を企画した。 ①地層の見方(鍵層など)や走向傾斜の測り方、地質柱状図の作り方 ②堆積構造や化石の入り方などからの、堆積地質から判読 ③地表風化や岩石の酸化、断層露頭の見方など 実習成果物：ルートマップ、柱状図、露頭スケッチ、対比柱状図、断層スケッチ
講 師	竹内 誠教授（名古屋大学） 吉田英一教授（名古屋大学、現日本応用地質学会支部長） 大谷具幸教授（岐阜大学、現日本応用地質学会幹事） 他、支部役員
参加者数	25名(会員10名、非会員3名、学生5名、講師3名(役員2名)、役員4名)

8)普及活動【親子体験ツアー「化石を探そう！化石鑑定団！」】

年月日	令和元年11月9日（土）9：50～16：00
場 所	瑞浪市（土岐川の河原・瑞浪市化石博物館、瑞浪市地域交流センター「ときわ」）
目 的	小中学生とその保護者を対象として、野外での体験等をとおして、地球の歴史や地学について興味を持ってもらう。
内 容	「化石を探そう！化石鑑定団！」と題して、講師に名古屋大学大学院環境学研究科氏原温准教授を招いて、河原での化石採取と瑞浪市化石博物館の見学を行い、ツアーの最後には、瑞浪市地域交流センターにて講師による参加者が発掘した化石の鑑定と簡単な鑑定書を配布した。
講 師	氏原 温 准教授（名古屋大学大学院環境学研究科） 西本 昌司 主任学芸員（名古屋市科学館）
参加者数	31名(子供：10名、保護者：11名、学生：2名 講師・役員・バイト：8名)

第2号決議(1)

平成31年度(令和元年度) 決算報告

平成31年4月1日～令和2年3月31日 (単位:円)

科目	平成31年度予算	平成31年度決算	差額	備考
収入の部				
1 本部からの収入	250,000	250,000	0	
2 学術集会事業収入	490,000	265,000	-225,000	
シンポジウム・講演会	100,000	68,000	-32,000	
技術交流会	100,000	22,000	-78,000	
見学会	100,000	120,000	20,000	
講習会	140,000	39,000	-101,000	
その他(普及活動)	50,000	16,000	-34,000	
3 会誌等頒布費収入	0	0	0	
4 補助金・寄付金等収入	50,000	50,000	0	中部地質調査業協会
5 雑収入	0	3	3	
当期収入計(A)	790,000	565,003	-224,997	
前期繰越収支差額(B)	426,311	426,311	0	
合 計 (A+B)	1,216,311	991,314	-224,997	
支出の部			0	
1 事業費	540,000	325,457	-214,543	
学術集会事業	540,000	325,457	-214,543	
シンポジウム・講演会費	100,000	78,236	-21,764	
技術交流会費	100,000	24,900	-75,100	
見学会費	100,000	34,521	-65,479	
講習会費	100,000	26,050	-73,950	
その他(普及活動)	140,000	161,750	21,750	
2 管理費	245,000	192,325	-52,675	
旅費交通費	200,000	148,000	-52,000	
通信郵送費	25,000	20,755	-4,245	
会議費	10,000	0	-10,000	
その他	10,000	23,570	13,570	
当期支出計(C)	785,000	517,782	-267,218	
当期収支差額D=A-C	5,000	47,221	42,221	
次期繰越収支差額(E=B+D)	431,311	473,532	42,221	

第2号決議(2)

会 計 監 査 報 告 書

一般社団法人日本応用地質学会 中部支部運営規程第23条により、事務局から提出された平成31年度(令和元年度)の決算報告書を会計監査した。

1. 会計監査の方法の概要

会計監査のため、会計に関する帳簿、書類並びに貯金残高を閲覧し、計算書類について検討を加え、必要な実査、立会、照合を用いて調査した。

2. 会計監査結果の意見

会計監査の結果、決算報告書は、本支部の財産及び損益の状況を正しく表示しているものと認める。

令和 2 年 4 月 18 日

会計監事

小嶋 智 

令和 2 年 4 月 19 日

会計監事

星 立 守 

第3号決議

一般社団法人日本応用地質学会 中部支部 令和2・3年度 役員の解任及び選任

(五十音順)

支部長・副支部長は研究発表会（10月名古屋）開催対応のため令和2年度まで継続対応

◎支部長（1名）

吉田 英一（名古屋大学 博物館）※令和2年度まで

◎副支部長（2名）

尾方 伸久（日本原子力研究開発機構）※令和2年度まで

奥村 建夫（東邦地水株式会社）※令和2年度まで

◎会計監事（2名）

小嶋 智（岐阜大学 工学部）

交代 藤原 協（国際航業株式会社 公共コンサルタント事業部）

◎代表幹事（1名）

交代 赤嶺 辰之介（サンコーコンサルタント株式会社 名古屋支店）

◎幹事（12名）

安里 長浩（日本工営株式会社 名古屋支店）

石井 順一（株式会社ダイヤコンサルタント 中部支社）

新任 居川 信之（株式会社エイト日本技術開発）

大谷 具幸（岐阜大学 工学部）

新任 太田 尚（応用地質株式会社 中部支社）

加藤 靖郎（川崎地質株式会社 中部支社）

佐々木 信剛（株式会社静環検査センター）

交代 篠田 繁幸（国際航業株式会社 中部統括部）

日野 康久（株式会社環境総合テクノス 富山統括支店）

藤井 幸泰（名城大学 理工学部）

望月 敦人（基礎地盤コンサルタンツ株式会社 中部支社）

新任 山中 義彰（サンコーコンサルタント株式会社 名古屋支店）

退任 足立 守（名古屋大学 特任教授）

退任 弥富 洋介（日本原子力研究開発機構）

退任 泉 正博（株式会社日研技術）

退任 野溝 昌宏（応用地質株式会社 中部支社）

退任 山本 博文（福井大学 教育地域科学部）

第4号決議

令和2年度事業計画

開催月	事業予定
令和2年4月	・第1回総会準備役員会：4/17(金)
令和2年6月	・第26回通常総会：6/12(金)
令和2年6月	・第2回役員会：6/12(金)
令和2年7月	・第3回役員会(研究発表会準備対応)
令和2年8月	・第4回役員会(研究発表会準備対応)
令和2年9月 ～10月	コロナ感染状況により9月上旬までに研究発表会開催/中止判断 ・アースサロン：9/30(水) ・日本応用地質学会研究発表会：10/1(木)10/2(金) ・現地見学会：10/3(土)
令和2年10月	・第5回役員会
令和2年11月	・応用地質学講座：11月～12月上旬
令和2年12月	・第6回役員会
令和3年2月	・第7回役員会

第5号決議

令和2年度 予算

平成31年4月1日～令和2年3月31日 (単位:円) 全国大会にて中部支部対応の収入・支出を追記

科目	平成31年度予算	令和2年度予算(案)	差額	備考
収入の部				
1 本部からの収入	250,000	400,000	150,000	全国大会実施予定
2 学術集会事業収入	490,000	1,070,000	580,000	
シンポジウム・講演会	100,000	0	-100,000	
技術交流会	100,000	0	-100,000	
見学会	100,000	0	-100,000	
講習会	140,000	140,000	0	
その他(全国大会)	50,000	930,000	880,000	全国大会
3 会誌等頒布費収入	0	0	0	
4 補助金・寄付金等収入	50,000	50,000	0	中部地質調査業協会
5 雑収入	0	0	0	
当期収入計(A)	790,000	1,520,000	730,000	
前期繰越収支差額(B)	426,311	473,532	47,221	
合計(A+B)	1,216,311	1,993,532	777,221	
支出の部			0	
1 事業費	540,000	1,021,000	481,000	
学術集会事業	540,000	1,021,000	481,000	
シンポジウム・講演会費	100,000	0	-100,000	
技術交流会費	100,000	0	-100,000	
見学会費	100,000	0	-100,000	
講習会費	100,000	100,000	0	
その他(全国大会)	140,000	921,000	781,000	全国大会
2 管理費	245,000	245,000	0	
旅費交通費	200,000	200,000	0	
通信郵送費	25,000	25,000	0	
会議費	10,000	10,000	0	
その他	10,000	10,000	0	
当期支出計(C)	785,000	1,266,000	481,000	
当期収支差額D=A-C	5,000	254,000	249,000	
次期繰越収支差額(E=B+D)	431,311	727,532	296,221	

4. その他（報告事項）

一般社団法人日本応用地質学会 中部支部 令和2・3年度 顧問・事務局ほか

◎顧問（6名）（五十音順）

大東 憲二（大同大学 情報学部 総合情報学科）
田邊 謹也（田邊技術士事務所）
塚脇 真二（金沢大学 環日本海域環境研究センター）
寺崎 勉（ナチュラルコンサルタント株式会社）
永田 秀尚（有限会社風水土）
米田 茂夫（青葉工業株式会社 名古屋支店）

退任 石川 政憲（株式会社静環検査センター）

退任 服部 勇（株式会社サンワコン）

◎事務局 〒460-0008 名古屋市中区栄 2-11-7 伏見大島ビル
サンコーコンサルタント株式会社 名古屋支店 気付
TEL 052-228-6132 FAX 052-223-6238

— 支部ホームページアドレス

<https://www.jseg.or.jp/chubu/index.html>

◎顧問（支部運営規程第19条（支部顧問）にもとづき、役員会で選任し支部長が委嘱する。任期は定められていない。）

◎事務局（支部運営規程第26条（事務局）にもとづき、支部役員会で定める。）

【資料 1】

中部支部の現況会員数（括弧内は前年度会員数）

会員数 158（156）名

静岡県 18（18）名

愛知県 77（74）名

岐阜県 23（21）名

三重県 4（6）名

福井県 9（9）名

石川県 20（20）名

富山県 7（8）名

（令和 2 年 5 月 15 日現在）

【資料 2】

一般社団法人日本応用地質学会 中部支部 令和 2・3 年度 役員 (五十音順)

支部長・副支部長は研究発表会(10月名古屋)開催対応のため令和2年度まで継続対応(案)

◎支部長(1名)

吉田 英一 (名古屋大学 博物館) ※令和2年度まで

◎副支部長(2名)

尾方 伸久 (日本原子力研究開発機構) ※令和2年度まで

奥村 建夫 (東邦地水株式会社) ※令和2年度まで

◎会計監事(2名)

小嶋 智 (岐阜大学 工学部)

藤原 協 (国際航業株式会社 公共コンサルタント事業部)

◎代表幹事(1名)

赤嶺 辰之介 (サンコーコンサルタント株式会社 名古屋支店)

◎幹事(12名)

安里 長浩 (日本工営株式会社 名古屋支店)

石井 順一 (株式会社ダイヤコンサルタント 中部支社)

居川 信之 (株式会社エイト日本技術開発)

大谷 具幸 (岐阜大学 工学部)

太田 尚 (応用地質株式会社 中部支社)

加藤 靖郎 (川崎地質株式会社 中部支社)

佐々木 信剛 (株式会社静環検査センター)

篠田 繁幸 (国際航業株式会社 中部統括部)

日野 康久 (株式会社環境総合テクノス 富山統括支店)

藤井 幸泰 (名城大学 理工学部)

望月 敦人 (基礎地盤コンサルタンツ株式会社 中部支社)

山中 義彰 (サンコーコンサルタント株式会社 名古屋支店)

一般社団法人日本応用地質学会 中部支部 令和 2・3 年度 顧問 (五十音順)

◎顧問(6名)

大東 憲二 (大同大学 情報学部 総合情報学科)

田邊 謹也 (田邊技術士事務所)

塚脇 真二 (金沢大学 環日本海地域環境研究センター)

寺崎 勉 (ナチュラルコンサルタント株式会社)

永田 秀尚 (有限会社風水土)

米田 茂夫

◎事務局 〒460-0008 名古屋市中区栄 2-11-7 伏見大島ビル
サンコーコンサルタント株式会社 名古屋支店 気付
TEL 052-228-6132 FAX 052-223-6238

【資料 3】 日本応用地質学会中部支部ホームページ、メーリングリストのご案内

① 日本応用地質学会中部支部ホームページ

<https://www.jseg.or.jp/chubu/index.html>

・適宜更新していますので、チェックしてください。

トップページ

中部支部概要

今年度の活動

活動報告

各種参加申し込み

入会ご案内

共催回体およびリンク

@JSEG_chubuさんのツイート①

ト

**日本応用地質学会 中**
@JSEG_chubu

コロナウイルス感染拡大の観点から、今年度の中部支部の総会・講演会・意見交換会・顧問会は中止としました。詳細はHPをご覧ください。 [jseg.or.jp/chubu/index.ht...](https://www.jseg.or.jp/chubu/index.html)

2020年4月20日

**日本応用地質学会 中**
@JSEG_chubu

通り雨で虹が出てました。写真ではわかりづらいですが、三重になってます。こんなのは初めて見ました。

埋め込む

Twitterで表示



GEO-Schooling net
土質・地質技術者の生涯学習ネット



**日本応用地質学会 中部支部のホームページへようこそ**

日本応用地質学会中部支部は、日本応用地質学会の中部地域（愛知・石川・岐阜・静岡・富山・福井・三重の7県）の支部として、平成7年4月に発足しました。
本支部では中部地区の応用地質学関係者によって、地元に関連した話題について講演会・研究発表会・見学会などを毎年開催しています。

TOPICS

[令和2年度 日本応用地質学会中部支部 総会・講演会中止のお知らせ（2020年4月20日）](#)

新着情報

■ 2019年12月24日

[名城大学・東北大学連携協定キックオフイベントのお知らせ](#)

■ 2019年12月6日

[【結果報告】令和元年度 普及活動：親子ツアー 化石発掘体験！](#)

■ 2019年10月23日

[【結果報告】令和元年度（2019）応用地質学講座（現地踏査実習）](#)

■ 2019年9月17日

[2019年度 親子体験ツアー！化石発掘体験！！の募集を開始しました。](#)

■ 2019年9月11日

[2019年度 応用地質学講座『現地踏査実習』を開催！](#)

■ 2019年9月11日

[第6回地盤工学サロン「中央構造線博物館・北川震源と阿寺断層」現地見学会開催](#)

▼これより古い情報はクリックで展開されます

RETURN TO TOP

② 日本応用地質学会中部支部メーリングリスト

・応用地質学会中部支部のニュースを定期配信しています。

メール配信希望の方で、現在メール配信されていない方は、配信希望メールアドレスを事務局まで連絡願います。

- 11 -

令和 2 年度

一般社団法人日本応用地質学会 中部支部 通常総会決議文書

令和 2 年 6 月 12 日

発 行：一般社団法人日本応用地質学会 中部支部

事務局：〒460-0008 名古屋市中区栄 2-11-7

伏見大島ビル

サンコーコンサルタント株式会社 名古屋支店気付

TEL 052-228-6132

FAX 052-223-6238